

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | | 指令情報課 | | 作成責任者 | | 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 時間外勤務時間 | |
|------|----|-------------------------|-------|--|-------|--|------|------|----------|------|---------|----------|----------|
| 施策目標 | 39 | 災害情報を統括・管理し、あらゆる活動を支援する | 野島 肇 | | | | 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間職員 | 臨時職員 | 非常勤嘱託職員 | 総時間 | 一人あたり月平均 |
| | | | | | | | 3 人 | 16 人 | 3 人 | 0 人 | 0 人 | 2,076 時間 | 10.8 時間 |

1 施策指標と実績(Do)

| 施策指標名 | | 3次実施計画の 現状値 | 目標値 (30年度) | 実績値 | | | |
|-------------------|--|--------------------------------|---------------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 消防緊急通信指令システムの安定運用 | | システム維持管理定期保守点検1回、セキュリティソフト更新2回 | 100% | 100%実施 | 100%実施 | 100%実施 | 100%実施 |
| 0 | | 0.0% | 0 | | | | |
| 0 | | 0.0% | 0 | | | | |

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

| No. | 事務事業名 (第3次実施計画) | 事務事業の目的・目指すべき成果・効果 何を・誰を どうやって働かか どうしたいか(生ま (対象) け(手段・方法) れる成果・効果) | Plan / Do | | | | | | | | | 総合評価 (Check) | | | Action | |
|-----|--------------------------------|--|-----------|------|------|-------------------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--|----|--------------|----------|------|--------|--|
| | | | 事業性質 | 従事者数 | 会計区分 | H28予算(円) H28決算(円) | H29予算(円) H29決算(円) | 事務事業の指標名 | H29目標値 | H29実績値 | 評価 | 取組時間 | 見直し検討可能性 | 業棚選定 | 休・廃止 | |
| 1 | 救急隊の増隊(消防緊急通信システム等整備) | 救急隊の増隊に対し、消防緊急通信指令システム等の整備を行い、的確・迅速に出動指令を行う。 | 政策 | 1.62 | 一般 | ----- 0 | 18,900,000 0 | 事業の進捗状況 | システム整備完了 | 救急隊増隊に伴う消防緊急通信指令システムを整備した。 | S | 増加 | | | | |
| 2 | 高度救助隊整備等(消防緊急通信システム等整備)(中核市関連) | 中核市移行に併せて、高度救助隊発足に伴う消防緊急通信指令システム等を整備する。 | 政策 | 0.00 | 一般 | ----- 0 | 0 0 | 事業の進捗状況 | - | 中核市の移行時期が未定のため、29年度は未着手 | Z | - | | | | |
| 3 | 消防緊急通信指令システム維持管理事業 | 消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、継続的な保守業務等により、安定運用を図る。 | 政策 | 6.09 | 一般 | ----- 125,159,000 114,147,621 | 90,652,000 87,105,279 | 119番受信システムの安定運用 | 指令システムの安定運用率100% | 消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、システム安定運用率100%を実現した。 | S | 変動なし | | | | |
| 4 | 消防署小和田出張所移転整備事業(消防緊急通信システム等整備) | 小和田出張所の移転に対し、消防緊急通信指令システム等の整備を行い、的確・迅速に出動指令を行う。 | 政策 | 0.78 | 一般 | ----- 0 | 12,243,000 12,204,000 | 事業の進捗状況 | システム整備完了 | 小和田出張所移転に伴う消防緊急通信指令システムを整備した。 | S | 増加 | | | | |
| 5 | 消防緊急通信指令システム運用事務 | 消防緊急通信指令システムを24時間365日適切に運用し、すべての119番通報に対し的確・迅速に対応する。 | 定例定型 | 5.29 | 一般 | ----- 0 | 0 0 | システム運用に関する業務状況 | 全ての災害通報に対し、的確かつ迅速に対応する。 | 全ての災害通報に対し、的確かつ迅速に対応した。 | S | 変動なし | ● | ● | | |
| 6 | 救命の連鎖に関わる事務 | 職員に対し、救急に係る教育を行い、口頭指導の知識・能力の向上を図る。 | 定例定型 | 5.22 | 一般 | ----- 0 | 0 0 | 救命の連鎖に関わる知識向上のための実務研修回数 | 12回 | 12回 | S | 変動なし | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|---|----------|-------|----|-----------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 7 | 災害応急対策活動 | - | 定例 定型 | 0.96 | 一般 | 0 0 | 0 0 | | | | | | | | | |
| 8 | 庁内共通事務 | - | 定例 定型 | 0.93 | 一般 | 0 0 | 0 0 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 20.89 | | H29総予算(円) | 121,795,000 | | | | | | | | | |
| | | | | | | H29総決算(円) | 117,885,279 | | | | | | | | | |

3 実施計画事業の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action) | |
|---|--|
| <p>指令情報課の平成29年度における事業数は8事業であり、「災害応急対策活動」、「庁内共通事務」を除くと6事業である。これらの事業の評価結果は、「S」5事業、「Z」1事業となっており、ほとんどの事業が順調に実施できたと考える。</p> <p>高度救助隊整備等については、中核市の移行時期が未定のため、「S」以外の評価となっている。</p> <p>事務事業の指標設定にあつては、指令業務の安定運用と的確かつ迅速な出動指令を実現するための指標設定ができていると考える。</p> <p>事業の成果にあつては、「指令システムに係る知識や技術向上のための研修」、「救急に係る口頭指導の知識や能力の向上」などの人材育成を行うとともに、指令システムの機器を良好な状態で維持することにより、24時間365日の安定運用を実現した。</p> <p>また、災害活動支援に有効なシステムを導入し、外国人からの119番等に対応した多言語通訳サービスの活用や聴覚障害者に対するNET119緊急通報システムの広報活動を行い、市民に周知を図っている。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、前年度の総時間1,991時間に比べ実績は2,076時間、一人当たりに換算すると、前年度の月平均10時間に比べ、実績は10.8時間とほぼ変化していないが、引き続き、効率的な業務遂行に向けて管理は必要である。</p> <p>指令情報課の事業は119番通報の受付や消防部隊等への出動指令が主なものとなっており、達成度や実施効果を数値で示すことは難しいが、職員が災害対応や人命救助などの助けを求める市民の窓口となっていることを再認識することが重要となる。</p> <p>今後の展望として、複雑多様化する災害に対して、的確かつ迅速な出動指令が求められており、人事異動後の新任通信指令員の教育体制を充実させることが必要となっている。よりの確かつ迅速な出動指令が行えるよう研修体制を充実させ、新任を含めた通信指令員の更なる知識及び技術の向上を目指すことで、市民サービスの充実を図る。</p> | |

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

| No. | 事務事業名 | 休・廃止検討の理由 |
|-----|-------|-----------|
| - | - | - |

5 働かかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

| No. | 事務事業名 | 取り組みの結果 |
|-----|------------------|--|
| - | - | 人材育成及び業務改善のため、内示後の課内の異動や業務分担を明確化したことにより、各職員のやる気や貢献意識は高まっている。また、各職員に業務分担の明確化やスケジュールの情報が共有化されたことにより、業務に対する取り組み方に改善が見られている。 |
| 5 | 消防緊急通信指令システム運用事務 | 119番対応の事例に基づき、職場内研修を定期的 to 実施し、職員間における重要度及び緊急度の共通認識を図り、119番対応の協力体制が確保されるようになっている。 |